

漁海況情報第11報 (2017年2月20日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沿岸の142° 10' E以西の水温は表面、100m深とも平年並から1℃高めとなっている。

宮城県沿岸の表面水温は、6～10℃台、100m深水温は7～10℃台となっており、いずれも平年並から1℃高めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

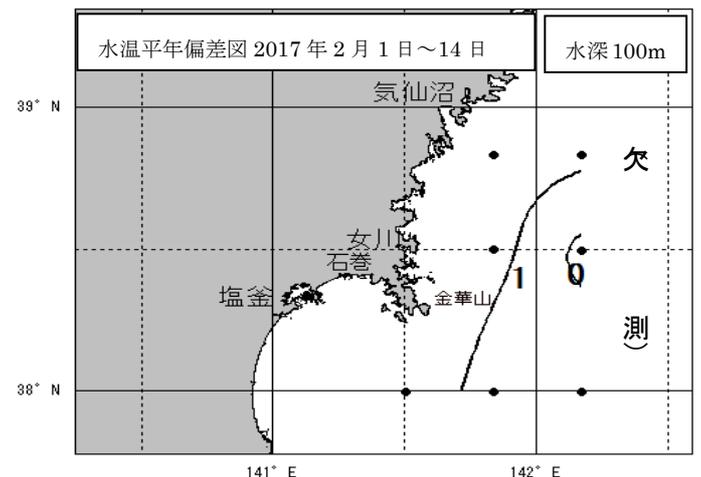
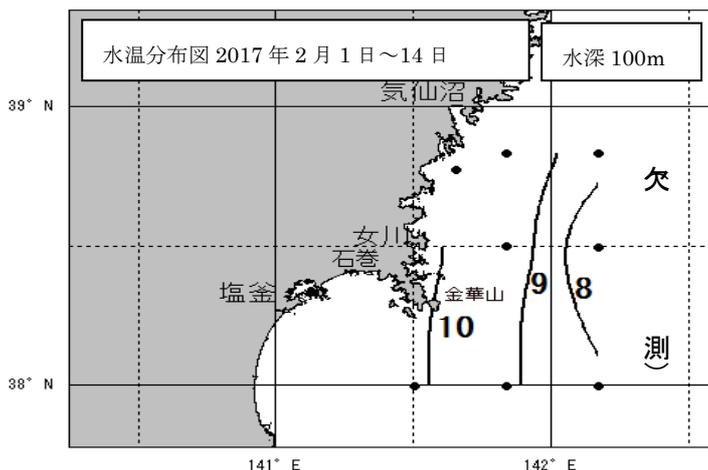
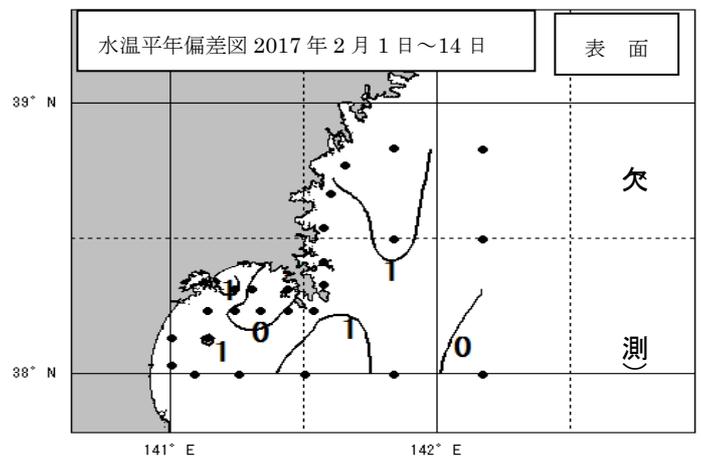
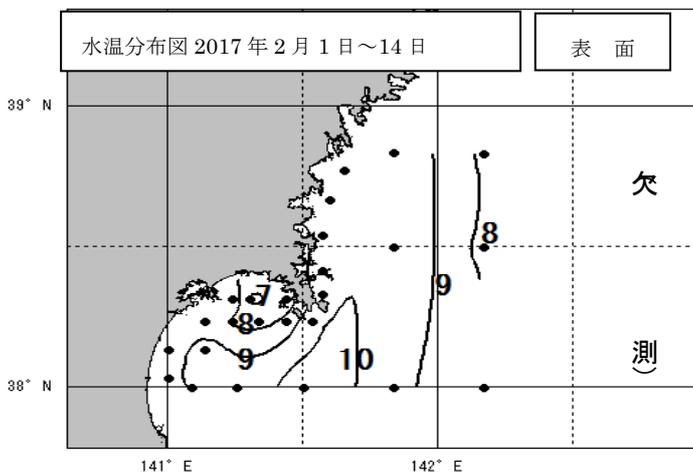
水温鉛直断面図をみると、38° 50' N (気仙沼沖)、38° 30' N (雄勝沖) では沖合ほど水温が低くなっています。38° N (亶理沖) は表層から200m深まで8～9℃台の水温が分布しています [P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、宮城県沖では親潮第2分枝が西進し、6℃の先端が福島県浪江沖東50海里に接近しています [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

1月中旬の定地水温は4～9℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼、田代島、佐須浜で平年並、江島はやや高めとなっています(亶理はブイの不具合により8月3日から観測を休止しています) [P3.定地海洋観測結果]。海底直上水温は、8～10℃台となっています。38° Nラインから仙台湾奥や金華山にかけて10℃台の北上暖水が波及しています [P3. 海底直上水温図]。

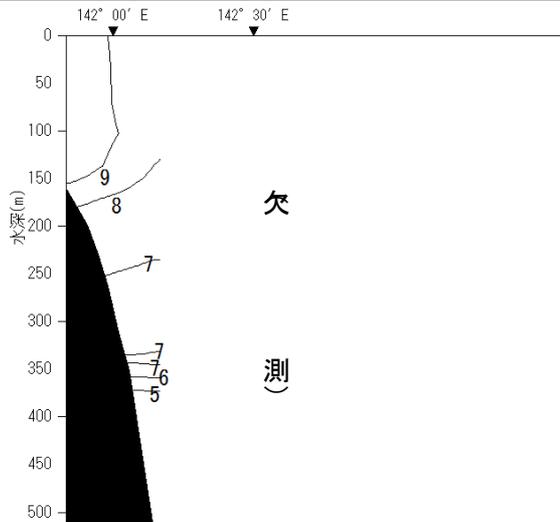
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

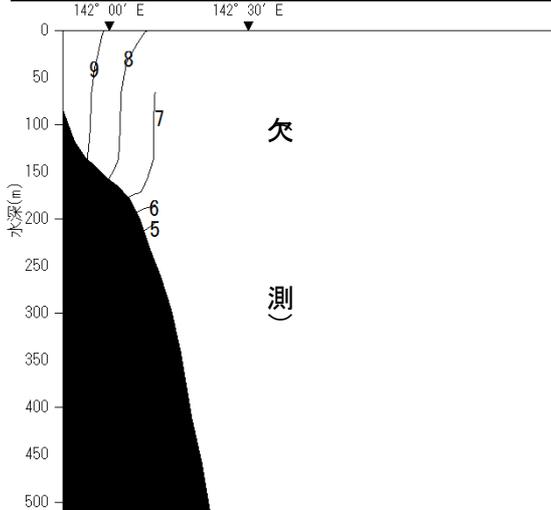


・水温鉛直断面図

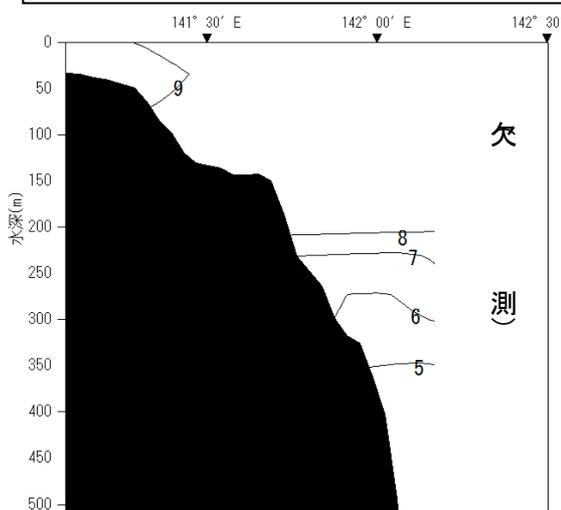
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

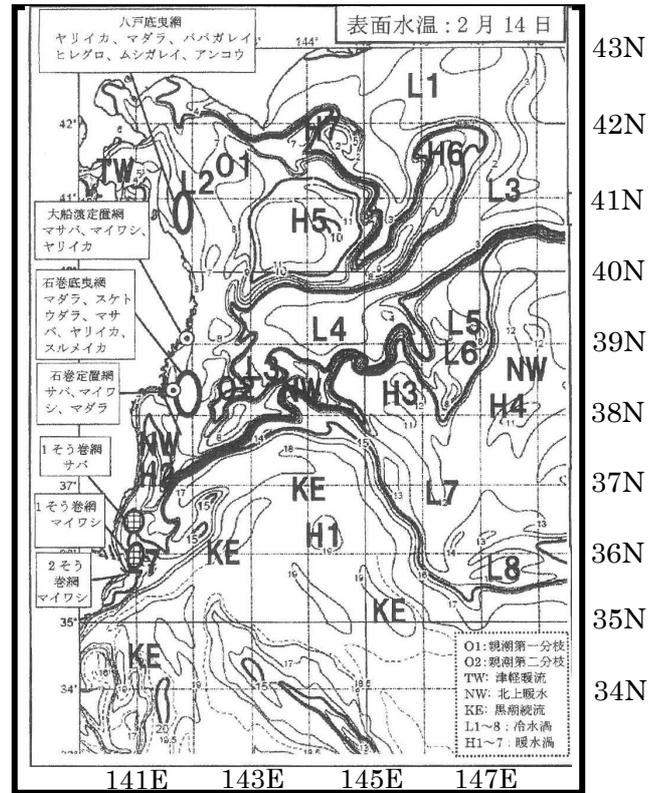


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2017年2月14日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

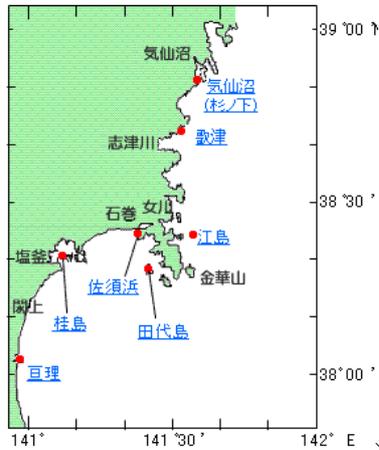
【海況】(2月14日表面水温)

- ・親潮第一分枝 (O1) は6°C台が尻屋埼東30海里へ南下, 第二分枝 (O2) は青森沖暖水渦 (H5) の南側を西進し6°Cの先端は浪江沖東50海里付近。
- ・黒潮 (KE:18~20°C台) は南房総に接岸して北上した後, 常磐沖を東進。
- ・9~14°C台の暖水が鹿島灘~常磐を北上, 9~10°C台が仙台湾沖に滞留。
- ・下北~仙台湾北部に7~8°Cの混合水が分布。
- ・常磐~鹿島灘は10~13°C台, 九十九里浜は13~14°C台。

【漁況】(2月10~14日)

- ・まき網: 1そうまき網と2そうまき網は鹿島沖などで操業, マサバ5,923tとマイワシ1,822tを漁獲。
- ・定置網: 石巻と大船渡はマサバ, マイワシ主体に水揚げ。
- ・スルメイカ: 石巻の底曳網のみ水揚げ。ヤリイカの水揚げも継続。
- ・2016年の東北主要6港のスルメイカ水揚量は17,000tに留まり, 1987年以降最低水準であった2015年の約1/2に減少。

・定地海洋観測



観測点	1月中旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	8.0 °C	平年並	0.5 °C
歌津	8.8 °C	-	-
江島	9.5 °C	やや高め	1.0 °C
田代島	7.6 °C	平年並	0.3 °C
佐須浜	7.1 °C	平年並	0.5 °C
桂島	4.9 °C	-	-
巨理	- °C	-	-

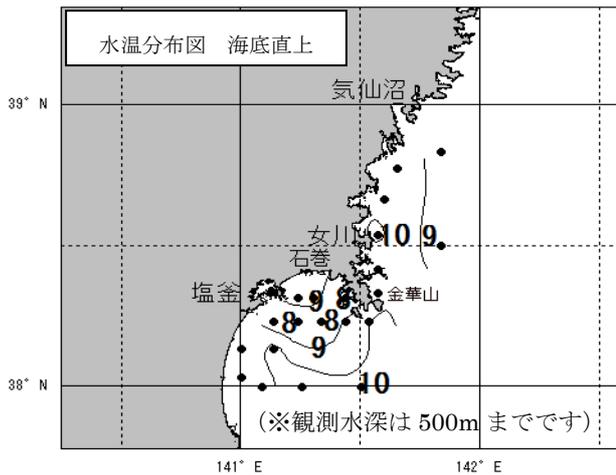
※巨理は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 江島 (30年)
 佐須浜 (10年)
 歌津 (平成28年12月から観測再開)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

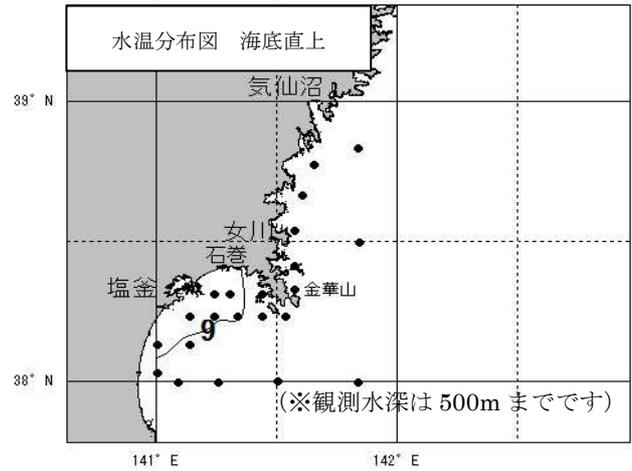
[「http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html」](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html)でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2017年2月1日～14日)

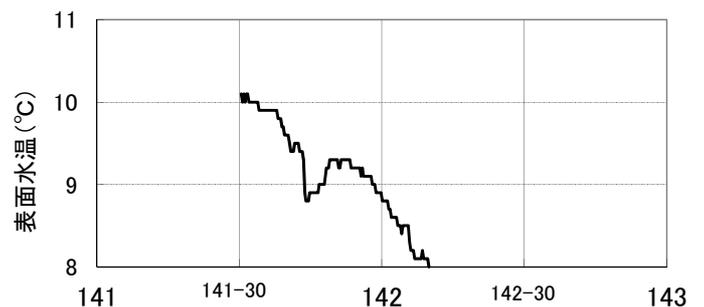
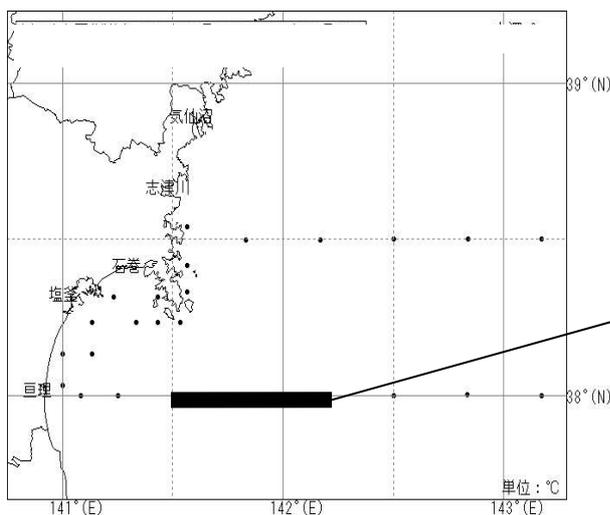


・海底直上水温(2016年2月3日～5日)



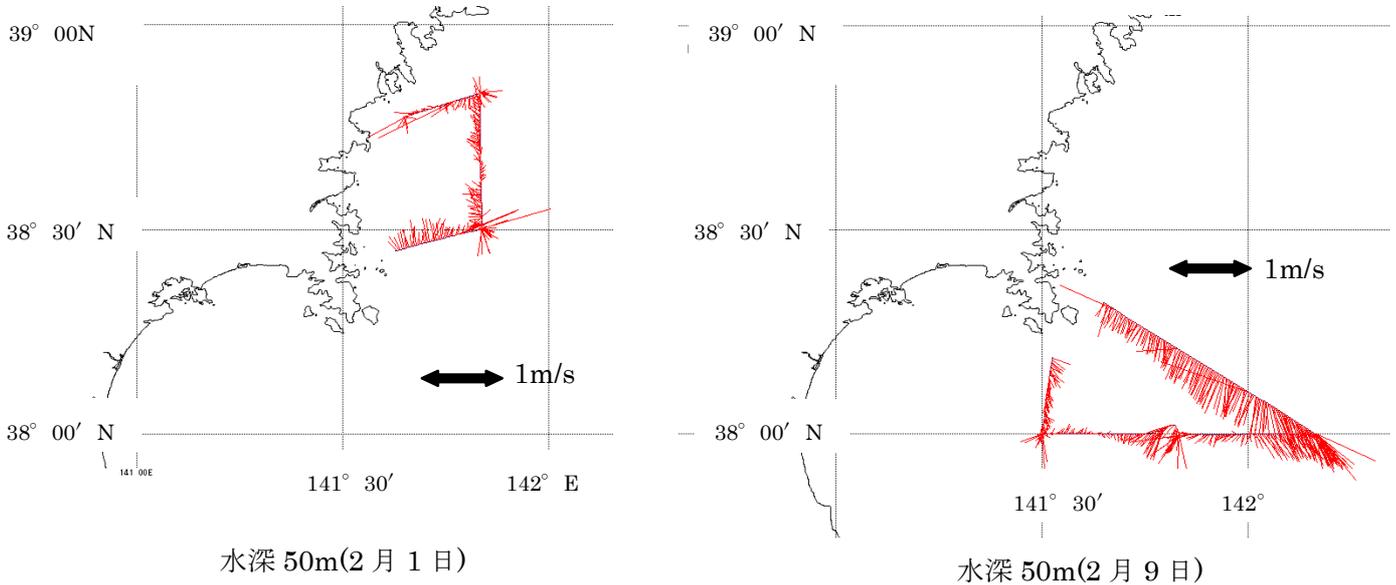
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。
 141° 30' E 付近に暖水が波及し、表面水温が 10°C になっています。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した2月1日と2月9日の50m深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成29年1月の水揚量を昨年同月比で比較すると、全般的に低調になっていますが、ヤリイカは2倍の漁獲量となっており、マイワシ、マサバは好調を維持しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成29年1月1日~1月31日)

	単位:トン											前年同月比
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	イカ釣り	延縄	その他	総計	
ピンナガ									184	26	210	54%
メバチマグロ(ダルマ含む)					1				18	4	23	49%
マイワシ	0	2	1,913			2,217	0			36	4,168	97%
サバ類	113	17	6,994			123	18			60	7,324	101%
ブリ	1	0				6	5			6	19	29%
マアジ	4	0	0			1	0			0	5	195%
スルメイカ	48	2	0			0		0		0	50	50%
ヤリイカ	213	21				5		0		0	240	213%
マダラ	407	23				252	128		1	173	985	64%
スケトウダラ	50	4				3			0	4	62	29%
ヒラメ	0	7				0	6			1	14	57%
マコガレイ	0	13					14			17	44	69%
マガレイ		3					6				8	61%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
 ※マグロ類のデータは陸送、搬入を除いたデータである。
 ※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 調査船運航計画

みやしお	
2月22日	底曳き調査
2月27日 ~ 2月28日	沿岸定線調査
開洋	
2月22日	オキアミ漁期前調査
2月27日 ~ 2月28日	浅海定線調査